

# 市議会だより

No.107

2022.5.6 発行



花園川沿いの桜並木（解説は15ページ）

## 主な記事の内容

- 3月議会常任委員会 **2**～**7**
- 一般質問 **8**～**10**
- 審議結果、賛否のわかれた議案、一般会計当初予算、請願・陳情の審査結果、全員協議会、質疑・討論、特別委員会、表紙解説 **11**～**15**
- 五浦美術館、編集後記、6月議会日程 **16**



議会だよりQRコード

会期中にそれぞれ委員会を開催し、委員会に付託された議案の審査を行いました。

また、委員会の分掌に関する事項についても質疑を行っています。ここでは、委員会での質疑の一部を紹介します。

## 産業建設委員会

3月9日に開催され、議案8件を審査し、その他についても質疑を行いました。

### 補正予算について

**問** 住宅用太陽光発電システム設置補助金と浄化槽設置整備事業費の減額について伺う。

**答** 太陽光システム設置は、60件の予算のうち現在31件の申請、120万円減額し180万円です。浄化槽設置は、150件見込みのうち現在98件で、約700万円減額です。コロナ禍の影響は不明ですが、昨年、今年とかなり減っています。

**問** 合葬式墓地の調査・計画委託料の減額と内容を伺う。

**答** 調査・計画をすべて委託ではなく、市民意識調査を担当職員で行ったことにより、112万5

千円の減額、87万5千円になりました。

市民アンケートでは、35〜80歳の市民を無作為で3千人抽出、泉沢霊園の利用者500人、計3500人に郵送し、約1200件の回答がありました。維持管理や承継に不安を感じている方が約6割、また今後の墓地の在り方として合葬式墓地は適していると考える方は約7割でした。

これらの調査結果に基づいて、基本計画を今月中に策定します。次年度には、実施設計を行う予定です。现阶段では、泉沢霊園内に、地下埋葬の形でなく、まず樹木葬の形式を検討しています。

### 一般会計予算の概要について

**答** 衛生費は、清掃センター建設事業費負担金に2億8445万6千円、合葬式墓地整備事業費に473万円、清掃センター設備修繕や環境センター施設整備などで、前年比8.5%増の23億9293万8千円です。

農林水産業費は、マウントあかね大規模リニューアル工事として宿泊A・B棟及び空調設備などの改修に約1億3千万円、転作達成促進事業補助に8197万円、土地改良事業費など、前年比14.4%増の6億9508万3千円です。

商工費は、前年比8%増の3億4763万1千円です。企業誘致奨励金に1787万1千円、商品開発・販路開拓支援に160万円、住宅リフォーム資金助成に45件分450万円、中郷温泉施設整備に397万2千円、その他関南町楊枝方新キャンプ場整備などです。

土木費は、前年比18.8%増の16億1531万円です。街路灯LED化改修に932万8千円、磯原駅東口天井改修工事、トンネル及び10箇所橋梁長寿命化事業での修繕工事や道路新設改良工事、河川（高井川）改修工事などです。

### 飼料米などへの補助について

**問** 転作達成促進事業補助金の見直しについて伺う。

**答** 転作として奨励している飼料米、WCS用稲への補助金で、これまで一律3万円の単価でした。県の示す転作の目標値285haに対して313haと達成されていることから、転換期として補助金見直しをしました。4年度から、10a当たり2万円と引き下げし、農業者が自身の水田を守りながら、農業を継続できるようにとの当初の目的に沿い、自作地には1万円の加算で3万円としました。交付団体である市農業再生協議会で12月23日に決定しました。

### 放射能測定について

**要望** コロナ禍で米価下落が大きいい中での補助金減額は農家にとって厳しいので、実態を精査し新たな支援策も検討すべきと要望する。

**問** 中郷多目的集会所内の「放射能プラザ」が閉鎖され、大津港の非破壊式検査所1ヶ所に集約されたが、人員や活動内容など伺う。

**答** 検査機器の保守管理については、これまで東北大で行いましたが、震災後10年経ち国からの補助金がなくなりました。今後は市で担当し、東電の賠償金をあてます。

非破壊式検査所の再任用職員は退職、放射能プラザの会計年度任用職員1名分を継続して任用、現在1名です。空間線量などの測定の際には、環境課職員が同行し、測定事業内容に変更はありません。

**清掃センターの委託業務について**

答 現在、資源ごみと可燃ごみの一部については直営で会計年度任用職員が実施、他の可燃ごみは民間委託です。新清掃センターの稼働時の5年度からは全面的に民間委託にします。

ゴミ収集業務を継続的に安定して実施するための人員確保と人材育成が必要であることから、許可業者間で入札し、民間委託するものです。

**いのしし捕獲について**

答 捕獲実績は、元年度で約800頭、2年度は599頭、3年度は1月末日現在256頭で、近年は減少傾向です。

県内で、豚熱の発生が156件報告されています。市内では2頭の不審死がありました。いずれも陰性でした。

**大津漁協への復旧・復興事業補助について**

答 復旧事業の第3製氷工場の修繕は水産庁の関連事業で、現在、返還するかどうか県と協議中とのことです。

問 市が関わった復興交付金事業について伺う。

答 水産荷捌き施設(市場)は、事業費約6億7千万円のうち補助金約5億9千万円で、平成27年7月に竣工しました。被災した第1・2の製氷工場の代わりの製氷施設は、事業費約9億3千万円のうち補助金約8億2千万円で、同年11月に完成。復興交付金事業は、竣工時に報告するほかに要件は特にありませんが、市は適正な指導監督を行うものとなっています。

**ときわ団地の水害対策について**

答 ときわ団地では、団地北側の既設水路に、上からの水流が西と北から流入し東側の相田川に流れます。大雨や台風の際ににあふれることから、今回の整備計画では、既設水路の北50mのところをバイパス水路を拡幅する予定です。これらの用地確保に伴う測量の委託料として1千万円の予算です。秋頃には、地域説明会を行うか個別訪問などして、住民への周知をしていきます。

**高井川の改修工事について**

答 2年度は上流の民宿周辺を改修、3年度は国道6号脇の現在の整備箇所を次年度に繰越し、7月には終了予定です。4年度の工事は600万円、関山川との合流地点約10mをブロック積みで整備します。

**公園などの遊具について**

問 公園などに設置している遊具の点検、改修、撤去について伺う。

答 約80箇所の都市公園のうち44箇所にブランコ、鉄棒、滑り台などの遊具110個を設置しています。平成29年の都市公園法改正で安全性の指導が強化され、点検は専門業者に委託しています。今年は12個がD判定(危険)でした。安全と保険の観点から、修繕や据付けは、専門メーカーに依頼しなければなりません。数が多いことから具体的な修繕・設置計画はたてていませんが、地域の要望などを精査しながら、年に2・3ヶ所ずつ修繕、撤去、新設していきます。3年度は、深田公園にスプリング遊具、栗野第1公園にブランコを設置しました。

**産業建設委員**

(議席順)

所管は、環境産業部、農業委員会、都市建設部及び水道部に関する事項。



鈴木 卓實



松本 正春



今井 路江



豊田 弘俊



鈴木 康子



大平 博之

## 文教厚生委員会

3月10日に開催され、付託された議案13件、継続議案1件を審査し、その他についても質疑を行いました。

### 専決処分について

答 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯及び住民税非課税世帯等に臨時特別給付金などを支給するため補正するものです。子育て世帯は、0歳から高校3年生まで6200人を対象に支給するため、事務費を含め6億2361万1千円の補正増です。住民税非課税世帯は、事務費を含め5500世帯分、5億6000万円の補正増です。低所得のひとり親世帯の生活支援は、3750万円の補正増です。

### 国民健康保険条例の一部改正について

答 県内市町村の国民健康保険税の賦課方式を、4年度から、現行の4方式賦課（所得割、資産割、均等割、平等割）を「2方式（所得割、均等割）」への統一、基礎課税額などの税率の改正、低所得者の保険税減額の改正、未就学児に係る均等割の軽減措置制度の導

入、以上の改正に伴う条例改正です。  
問 増税になる世帯割合と制度変更の啓発について伺う。

答 増税世帯割合は、14%程度と見込んでいます。啓発は、4月広報紙、市HP、7月納付書発送時及び保険証送付時に文書を添付していきます。

### 補正予算について

答 3年度の国の補正予算を受け、中郷第一小学校屋内運動場長寿命化改修事業として、老朽化が著しい屋内運動場を全面改修工事のため1億7172万4千円の補正増です。なお、この工事は4年度に着手します。学校給食臨時休業対策事業費補助金として、コロナにより3年9月の臨時休校による給食休止措置に伴い、県学校給食会に対し、不足が生じた学校給食維持経費相当分の助成のため86万1千円の補正増です。

### 令和4年度一般会計予算について

答 民生費は、前年比1.5%増の2億8543万7千円を計上。主なものは、社会福祉費で、自立支援給付費、低所得者保険料軽減線出金などの増により1億504万5千円の増額。児童福祉費で施設等利用給付費、児童手当費などの減

により3798万8千円の減額。生活保護費で、医療扶助費の増などにより2793万1千円の増額予算です。

衛生費は、前年比8.5%増の23億9293万8千円を計上。主なものは、保健衛生費で、予防接種委託料、市民病院補助金などの増により5729万円の増額予算です。

教育費は、前年比24.2%減の13億8610万6千円を計上。主なものは、教育総務費で、小学校教師用教科書、指導書などの減により360万4千円の減額。小学校費で、防犯カメラの設置費、電気料などの増により1823万1千円の増額。中学校費で、磯原中学校解体工事費、デスクトップパソコン賃借料などの減により3億8013万3千円の減額。社会教育費で、旧水沼小中学校プール解体工事費、野口雨情歌碑等設置工事費などの増により3560万円の増額。保健体育費で、給食センター解体工事費、庁用器具購入費などの減により1億1338万1千円の減額予算です。

### 関本保育所あり方検討委員会について

答 老朽化が進む関本保育所の存廃を含めた今後のあり方について、市民の意見をお聞きするため4年

度に設置します。地元関係者、利用者、教育者など10名程度で構成し、5年ほどかけて結論を出す予定です。この間は、施設を修繕しながら開所継続の予定です。現在の入所児童は30人（定員30人）です。

### 野口雨情歌碑等設置について

答 現在、磯原駅前にウォーキングロードを整備中ですが、その利用者に野口雨情に親しんでもらうために設置を決定したものです。どのような歌碑にするかは今後検討します。

### 常陸大津の御船祭事船新調補助金について

答 3年度からの2ヶ年事業で、3年度が350万円、4年度が380万円の補助金交付です。総事業費は2871万8200円で、国2分の1、市と保存会が4分の1ずつの負担です。完成後は、北茨城市漁業歴史資料館「よう・そるー」に保管します。旧船の活用は今後検討します。

### 美術品搬送業務委託料について

答 北茨城市出身で岡山大学名誉教授の蛭田二郎氏から4年度65点の彫像が寄贈される予定です。3年度35点寄贈されており、併せて

100点になります。これらは、生涯学習センター分館「期待場」に保管する予定です。  
 要望 子どもたちの芸術教育のためにも小学校や中学校、図書館など公共施設に設置するよう要望する。



蛭田二郎氏作品の一部

### ICT支援員について

答 支援員の配置は、当初令和3年10月からを予定しましたが、12月からになりました。6ヶ月間の予定が、4ヶ月間と短くなりましたが、学校の規模に同じ、配置回数を週3回に増やすなどし、当初の配置日数を確保しています。また4年度は、前年度の状況をふまえ、より充実した支援員の配置を進めるための予算計上をしています。

### 令和4年度市民病院事業会計予算について

答 予算総額41億6252万6千円の計上で、前年度比2億5473万2千円の増額です。主なものは、血管造影システムの医療機器購入費、超音波画像システム更新

費などの増です。

問 4年度の医師数について伺う。

答 常勤医師は21名、うち家庭医療センターは5名となります。10月からは22名体制の予定です。なお、非常勤医師は50名程度での診療を予定しています。いずれも、前年度と同程度の医師数での診療体制です。

問 非常勤医師の診療体制及び確保について伺う。

答 非常勤医師の診療科目は、前年度と同じ科目での診療を予定しています。医師確保については、関係医療機関からの派遣や派遣会社からの紹介などにより確保しています。

問 医業外収入で、国県補助金が2億8千万円以上減額しているが、理由について伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の入院病床確保補助金が2年度以降交付されましたが、4年度では見込めないために減額しました。

### ひきこもり対策について

答 精神保健相談を月1回開設し、精神科医及び保健師が相談に応じています。

### 新型コロナウイルス感染症について

問 感染症拡大に関する情報共有

について伺う。

答 人権に配慮しながら、必要に応じ、教育委員会、学校などに情報を提供し、感染拡大の防止を図っています。

問 3回目接種が始まっているなか、集団接種会場における開設日数が1日少なくなったが、苦情などはないか伺う。

答 現在は週4日開設していますが、特に苦情はありません。また1日の接種人数を増やすことで1日分減らしています。

要望 未だ収束が見込めない中、市民の安心の確保のため、自宅療養者を対象とした生活支援（食料品等配布）制度をあらかじめ整備しておくよう要望する。

### 学校教育について

問 中学3年生に対し「リモートによる自宅学習」期間を3月3日の県立高校入試日前日まで設けたが、その影響について伺う。

答 この対応は、受験前の感染症対策として実施したものです。この間、各中学校では、時間を区切ったの登校相談やオンラインでの相談を行い、受験への不安や学習の結果、予定した生徒は全員受験しました。

## 文教厚生委員

(議席順)

所管は、市民福祉部（市民課を除く）、教育委員会及び市民病院に関する事項。



滝 文裕



和田 喜武



熊田 栄



滝 広嗣



鈴木 啓一



鈴木 和栄

# 総務委員会

3月14日に開催され、付託された議案10件、その他についても質疑を行いました。

また、16日に追加議案2件を審査しました。

## 補正予算について

答 主に、各種事業費の確定等に伴う調整を行うとともに、中郷第一小学校屋内運動場長寿命化改修事業費等に係る国庫補助金等を計上し、財政調整基金積立金ほか基金費を増額するものです。

## 令和4年度一般会計予算について

答 主な歳出では、総務費は市庁舎空調・電気設備等改修工事業務委託料、へき地施設建設事業補助金などを計上、消防費は備品購入費において防火衣の購入、工事請負費においては防火水槽新設工事などを計上し、国際親善友好都市交流補助金や地方交付税などについて審議しました。

## 北茨城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

答 国家公務員の育児休業・介護

休暇などの取得要件が緩和されることに伴い本条例の一部を改正するものです。

問 本年度の計画について伺う。

答 勤務環境の整備に関する措置となり、より良く育児休業を取得できるように職員への周知を図りたいと考えています。ハンドブックを作成して制度の周知徹底を図っていきます。また、専門知識を持った講師を招いた研修会を開くなど検討をしていきます。

## 北茨城市非常勤消防団に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

答 消防団員に係る退職報償金の支給対象から、機能別団員を除くため、本条例の一部を改正するものです。

## 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例について

答 消防団員の報酬、費用弁償等を見直し、処遇改善を図るため、本条例の一部を改正するものです。

問 現在の消防団員数を伺う。

答 基本団員数は474名で機能別団員数は49名です。定数を満たすよう募集を継続していきます。

問 ホース乾燥塔の撤去工事について伺う。

答 施設の老朽化による腐食などにより危険なため撤去します。なお、ホース乾燥においては、消防本部へ持ち込み洗浄し乾燥を行います。



ホース乾燥設備



ホース洗浄機

問 2ヶ所の防火水槽新設工事について伺う。

答 磯原町豊田地区及び華川町上小津田地区の新設工事で規模は同じですが、立地条件により費用は異なります。

問 防火衣の購入費について伺う。

答 防火衣は7年から11年経過しており、4年間で60着を購入します。

問 半鐘の撤去について伺う。

答 平成17年度に、中郷、磯原、関南、大津、平潟地区に24ヶ所設置しました。すでに9ヶ所撤去し、4年度に、残りの15ヶ所を撤去します。

## 組織改編に伴う部及び室設置条例を改正する条例について

答 行政組織機構の改編に伴うもので、総務課への危機管理室の設置に伴うものです。

問 危機管理室へ専門的知識を持った方を配置するのか伺う。

答 危機管理監のことと思いますが、当面職員で対応し今後の課題として考えています。

問 災害時中心となる自主防災組織の育成について伺う。

答 職員は、毎年国で行う防災に関する研修を受けており、自主防災会などの指導に生かします。

### 固定資産評価について

**問** 不動産鑑定委託、土地評価業務委託について伺う。

**答** 固定資産税については、3年に1度の評価替えがあり、次は令和6年度が評価替えとなり、その基準日が5年の1月1日となります。187地点ある標準宅地の不動産鑑定を不動産鑑定士に依頼をするものです。

土地評価業務委託料については、価格の積算根拠の細かな説明を求められる事例が増えており、限られた時間と人員の中で公平かつ適正な課税の実施及び説明責任を果たすために、土地評価替え業務の一部を専門業者に委託し、全体のバランス、課税誤りを防止するとともに、納税者からの問い合わせにも適切に対応するための資料作成などを業務委託するものです。

**問** 地目変更や構築物など納税者への説明について伺う。

**答** 土地に関する現況見直しは、法務局からの情報や建築確認申請情報を確認し、航空写真を活用しながら、現地調査を実施したうえで、地目の認定、評価額の決定をします。現地確認は現況の調査や、近隣のパトロールを実施しながら実態の把握をしています。

**問** 地目変更の場合は地権者立会いを求めて確認を行ってきたのか伺う。

**答** 現況確認において評価額、税額が大きく上がってしまう場合には、本人立会いの下、また状況に応じ文書や電話などで事前説明を実施し、納税者の理解を得られるよう取り組んでいます。要望 当人の理解を得るために、より丁寧な説明を要望する。

### 公共交通機関、防犯街路灯LED化の財源について

**問** タクシー券や巡回バス、防犯街路灯のLED化についての電気料など、国の助成制度はないのか伺う。

**答** 公共交通機関、防犯街路灯の補助金はありません。今後行われる地域公共交通計画策定については補助事業を活用して行います。要望 タクシー券の充実、巡回バスのコースの変更、病院のシャトルバスと併用した巡回バスの運用など多くの市民が有効活用できるようなサービスを要望する。

### 会計年度任用職員について

**問** 何名いるのか伺う。

**答** 3月1日現在、水道、病院も含め417名です。

**問** 任期は何年か伺う。

**答** 会計年度任用職員の任期は原則1年以内となっており、年度を超えた任用も可能となっています。一般事務について同一部署での勤務は2年です。ただし、2年経過後も、他の部署であれば勤務することが可能となっています。

**問** 専門的業務を扱う部署においても、制限を設けているのか伺う。

**答** 保育士、介護士など専門職では、短期間で交代することは業務上遅れや支障が生じることから制限しておりません。今後、業務が複雑になれば、任用する上での運用の見直しも検討しなくてはならないと考えています。

**問** 窓口業務における市民への対応について伺う。

**答** 会計年度任用制度は2年経過したところであり、各担当課とヒアリングを行い、業務運営上問題点などがあれば改善し、市民サービスの向上に努めます。

### 集会施設について

**問** 補助制度について伺う。

**答** 地区が所有、管理している集会施設について、修繕を行う場合は、必要に応じて2分の1の補助を行っています。また、借地料でも、一部助成を行っています。

## 総務委員

(議席順)

所管は、市長公室、総務部、市民福祉部のうち市民課、会計課、消防本部、監査委員事務局ならびに他の委員会に属さない事項。



沓澤 和彦



柴田 キクエ



上神谷 英典



蛭田 千香子



前田 利勝



豊田 海洋



鈴木 信男

## ワクチン接種と学校給食について

蛭田 千香子

**健康を守るためのワクチン接種について**

**問** 積極的勧奨を控えていた子宮頸がんワクチン接種について伺う。

**市民福祉部長** 国において積極的勧奨の差し控えの方針が見直されたことに伴い、令和4年度から対象者への積極的勧奨を行います。また、差し控えの期間に接種の機会を逃した方を対象に、国の方針に従い接種を進めます。

周知については、対象者への個別通知及び広報、市HPを考えています。対象人数は、4年1月現在で未接種者1192人です。

**問** 带状疱疹の予防について伺う。

**市民福祉部長** 带状疱疹のワクチン接種により、病気の発症や軽減、後遺症を予防できること、また、接種料が高額であることを認識しています。

今後、予防ができることを市HPなどに掲載していくよう、前向きに検討していきます。

**要望** 高齢者のワクチン接種の推進や高額な接種料の緩和のために、市の助成を要望する。

**問** 風疹ワクチン接種状況と期間の延長について伺う。

**市民福祉部長** 国では、今年度までに190万人の男性に接種を終える目標でしたが、コロナ禍で受診控えや健康診断の延期により、接種を受けた人は昨年10月末までに74万人余りと39%に留まっていることから、無料で抗体検査や予防接種を受けられる期間を6年度まで3年間延長することを決めまし

た。当市の3年度の風疹抗体検査の実施は12月末までで93人、その内30人が予防接種を行いました。全体で残り約3500人の方が受けていない状況です。対象者には、市HP、広報などで検査の勧奨をしていきます。

**学校給食について**

**問** アレルギー児童の給食と費用について伺う。

**教育部長** 各学校でアレルギーの調査を行い、給食センターへ報告し、それを基に毎月の献立作成時に一人ひとりのアレルギー食品対象表を作成し、学校と保護者で確認し対応しています。なお、給食費の減額などについては対応していません。

**問** 「お弁当の日」の教育的意義について伺う。

**教育部長** 「お弁当の日」は、平成21年度より、原則、第1・第3火曜日の月2回、夏場の6月・7月・9月を避けて年間12回実施しています。

お弁当の日は家族の絆を大切にするここと、弁当を作ることで食の大切さや給食への感謝の気持ち育てる、食べ物や食育を目的としています。

**問** 給食費無償化について伺う。

**教育部長** 今年度より中学生を無償、小学生は昨年度に引き続き月5000円の補助を行っています。給食費無償化は市長の公約であり、財政面を考慮しながら実施に向けて進めていきます。

## キャンプ場とウォーキングロードについて

柴田 キクエ

**問** 花園キャンプ場の利用状況を伺う。

**環境産業部長** 次表のとおりです。

年度	利用者数(人)	利用料金(円)
H29	9,081	7,159,420
H30	11,708	9,298,590
R 1	18,995	16,145,510
R 2	16,977	17,928,190
R3.2月末	17,159	20,107,050

※部長答弁を表にしています。

**問** 今後の課題について伺う。

**環境産業部長** 利便性向上の点から、アクセス道路である県道水沼磯原線の拡幅が課題であると考えています。

**問** 揚枝方キャンプ場の構想を伺う。

**環境産業部長** 当市では芸術によるまちづくりを推進しており、人口減少が進み限界集落化している揚枝方地区ですが、この地区が有する日本の原風景を活かしながら、交流人口の拡大を図るための拠点としてキャンプ場整備を進めます。

**問** 近隣施設との連携について伺う。

**環境産業部長** ARI GATE、「期待場」及び「とれふる」での芸術体験、揚枝方地区活性化協議会で整備した炭窯や植栽した桜、菜の花の自然景観を一体的に活用し、滞在拠点として地域の活性化と観光誘客に努めます。

**要望** 花園キャンプ場と揚枝方地区を結ぶ道路の整備を要望する。

**ウォーキングロードについて**

**問** 磯原の整備状況を伺う。

**都市建設部長** 平成23年度に磯原中央公園沿いの花園川ウォーキングロード1590m、28年度に磯原中央公園から市立図書館までの大北川ウォーキングロード1034m、合計2624mが整備されています。

今年度は、市立図書館から磯原駅東商店街を通り、磯原駅を経由し磯原中央公園までの延長1170mの区間を整備しています。磯原中央公園を中心に3つのコースがつながり、合わせて約3.8kmが整備されます。

**問** 今後の予定について伺う。

**都市建設部長** 磯原地区全体を周回するコースを設定し、市立図書館から磯原海岸沿いを進み、野口雨情記念館や二ツ島高台公園などの観光スポットを周るルートを検討しています。また、令和4年度にはウォーキングロードを当市ゆかりの野口雨情にちなみ、「雨情小径」と名づけ、市民により親しみを持って利用していただけるよう歌碑やレリーフなどを設置します。

**問** まちなか活性化への取組みについて伺う。

**都市建設部長** 磯原駅を中心とした、歩行者の流れによる活性化を図るとともに、沿線の地元商店や商工観光課など関係課と連携・協力し、まちなかの活性化へ向けての取組みを検討します。

**要望** ウォーキングしながら立ち寄りやすい店、また生涯現役で活躍したい中高年の働く場所づくりを提案する。

## 新型コロナウイルス感染症について

豊田 弘俊

**問** 1・2月の市内感染者数について伺う。

市民福祉部長 令和4年1月は99人、2月は261人、3月6日現在の累計は585人です。

県全体では10歳未満、10代、30代の方が多く感染されています。

**問** 市内重症者数や入院患者数について伺う。

市民福祉部長 感染者の重症者数、入院患者数については、県が把握しています。国の重症者率は0・98%となっており、県内の重症者数は3月上旬で15人前後でした。そのため、市内の重症者はそれ以下と推測されます。

**問** 市内人口に対する2回目ワクチンの接種率について伺う。

市民福祉部長 2月末現在で、2回目接種をした方は3万5705人です。12歳以上の対象者では90・9%が接種しています。全人口では83・7%です。

**3回目ワクチン接種について**

**問** 65歳以上の3回目接種状況について伺う。

市民福祉部長 65歳以上の高齢者の3回目接種状況は、2月末現在で7094人、接種率は48・9%です。

**問** 65歳以下の3回目接種状況について伺う。

市民福祉部長 現在、2回目接種の日から6ヶ月が経過してから3回目接種が可能となり、6ヶ月になる前日に接種券を発送し接種をお願いしている状況です。

**問** 5歳から11歳までの小児の接種について伺う。

市民福祉部長 5歳から11歳までの小児へのワクチン接種は、7日より北茨城市民病院で行います。なお、当市では、市民病院のみの接種です。

**問** 今後の広報について伺う。

市民福祉部長 ワクチン接種の広報は、市HPや広報紙、接種券の発送にて周知します。内容など詳細については、市コールセンターで対応します。

**マイナンバーカードについて**

**問** 現在の発行枚数などについて伺う。

市民福祉部長 交付枚数は、4年2月20日現在で1万5726枚です。基準となる3年1月1日現在の市内人口4万2651人に対する交付割合は、36・9%です。

**問** 健康保険証としての利用とマイナンバーについて伺う。

市民福祉部長 健康保険証利用の申請方法は、スマートフォンやパソコンでマイナンバーサイトから行うほか、セブン銀行ATMや医療機関窓口でも申請ができます。また、市役所市民課及び保険年金課でも職員が手続きをサポートしています。

現在、市内の医療機関や薬局でマイナンバーカードによるオンライン資格確認を行っているのは12ヶ所です。

健康保険証登録分や銀行口座登録分に係るマイナンバーの申請は、6月頃になる予定です。

## コロナ対策の市独自支援策はいかがか

鈴木 康子

**問** コロナ感染症の第6波は、社会生活に大きな影響を与えている。観光業・宿泊業、飲食店など、特に人の流れがあつてこそその生業が打撃を受けていたり、自粛生活の長期化で市民の暮らしが心配される。そうした中で、まず経済的な支援策が必要と考えるが、国の支援策への取組みについて伺う。

市民福祉部長 国は、令和3年11月に子育て世帯及び住民税非課税世帯に対する給付金を決めました。子育て世帯には、児童手当の受給者、高校生などの養育者に児童1人当たり10万円相当の給付で、当市では迅速さを最優先し、現金10万円の一括給付を早期に選択。

4年3月2日現在で3088世帯、5418人の児童に支給しています。住民税非課税世帯などは、主に世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税の世帯、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し非課税世帯と同様と認められる世帯に支給をするものです。県内では最も早い1月25日から給付を開始し、3月2日現在で4068世帯、80%以上に支給が済んでいます。

**問** 市の独自支援策について伺う。

市長公室長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、臨時子育て応援商品券の支給、宿泊、飲食、交通事業者の支援などを実施しました。4年度も本交付金を活用でき

る見込みなので、国への事業計画の提出に向け、実施事業の検討を進めていきます。

**検査について**

**問** PCR検査や抗原検査について伺う。

市民福祉部長 4年1月4日から、感染拡大傾向時に薬局などで無料検査が受けられる県の一般検査事業が開始しました。2月4日で一時停止しましたが、3月6日から再開しています。

市独自の検査は、今後の感染状況、検査キットの流通などを考慮し、慎重に判断していきます。

**問** 福祉・教育施設に国から昨年配布された検査キットについて伺う。

市民福祉部長 高齢者施設などは3年6月に配布、数量は不明ですが、使用期限切れのものもあるとのこと。学校関係には、3年9月下旬に配布され、小学校4年生以上が対象で親の同意を得て学校で検査できますが、こちらも使用期限切れがあります。

保育所、幼稚園については、同じく3年9月に配布、8施設540キットです。3月3日現在で使用数が376キット、濃厚接触や体調不良、行事開催前に職員の検査などに使用している状況です。

(他に、学校給食の地産地消の推進、市民病院感染症外来について質問)

## 新清掃センターの運営と観光振興について

沓澤 和彦

### 新清掃センターについて

問 運営方法について伺う。

環境産業部長 北茨城市、高萩市で組織する広域事務組合が実施します。施設の運営管理については、民間の創意工夫を取り入れ、良質な施設管理を図るため、運営経費の削減や財政負担の平準化などを考慮し、事務組合で検討を行っています。

問 ゴミ収集や搬入について伺う。

環境産業部長 現在、市内の約1500ヶ所のゴミステーションを、直営及び委託業者による効率的な収集ルートや収集エリアを考慮して回収業務を実施しています。山間部については、人員や車両の保有台数及び移動距離の問題から、燃やせるゴミの収集を週2回のところ週1回で実施しています。

問 山間部の収集改善について伺う。

環境産業部長 収集回数を増やすためには、他の地域の収集曜日を組み替える調整と収集体制の強化が必要です。これらのことを踏まえて、稼働に合わせる令和5年度から収集を週2回実施したいと考えています。

問 今後の収集体制について伺う。

環境産業部長 北茨城市と高萩市では収集許可業者が同一でないこと、管理方法に違いがあること、さらに両市のゴミステーション数が約2500ヶ所であることから、効率的なルートによる安定したゴミ収集実施のために、稼働後も各市が実施することとなります。

今後については、将来にわたって安定的に継続していくための人材確保と育成教育が必要であり、将来的なゴミ収集業務の在り方を総合的に判断して、市が直営で実施している部分についても5年度の稼働に合わせて全て民間に委託したいと考えています。

問 今後の搬入体制について伺う。

環境産業部長 現在の清掃センターと同様に、直接持ち込みが可能となります。土曜日についてはこれまでの午前中のみから午後の受け入れも実施したいと考えています。

### 観光について

問 アフターコロナを見据えた取組みについて伺う。

環境産業部長 コロナ禍で集客イベントが実施できないため、気軽に市内の魅力が楽しめるような観光動画の配信、インスタグラムやツイッターなどのSNSを活用してPRを進めています。

今後は、整備中のウォーキングロードや新清掃センターに隣接する屋外周遊型サイクル展示施設を新たな観光資源ととらえ、広く周知に努め、有効活用していきます。

問 近隣自治体との連携と現状、取組みについて伺う。

環境産業部長 3市で作成したパンフレット「結なび」の配布増刷やPR動画の作成に加え、サイクリングロードの整備に向けて取り組んでいきます。

## 施政方針における人口減少対策について

今井 路江

問 人口が減少している要因について伺う。

市長公室長 当市の人口減少の要因については、自然増減の面では平成11年以降、死亡者数が出生者数を上回る状況が続いており、令和3年は死亡者数564人に対し、出生者数は200人にとどまったことで364人が減少するなど、少子高齢化の進展が一因となっています。

また、社会増減については、平成10年以降、転出超過が続いており、令和3年には転出者1225人に対し、転入者が902人ととどまったことで323人が減少しており、特に3月から4月における転出者数は全体の3割を占めることから、進学や就職、転勤などによる転出も人口減少の要因と考えられています。

問 人口減少が当市の財政構造に与える影響について伺う。

総務部長 当市では、人口減少が続く中、直接的な市税収入の減少傾向は見られておらず、財政の健全性を保ちながら安定的な財政運営に努めてきたところであり、当面、市の行政サービスに影響はないと考えています。

ただし、今後の経済状況の変化によっては財源の確保や新たな行政需要への対応などが考えられるところであり、その場合の財源として財政調整基金等を活用するなど、行政サービスの低下を招くことのないよう財政運営に努めます。

ます。

いずれにしても施政方針にあるとおり、限りある財源で健全な財政運営を継続させるための取組みを推進していきます。財政指標については、特に今のところ問題はない数値だと考えています。

問 当市の取組みと今後のビジョンについて伺う。

市長公室長 人口減少、少子高齢化に対応し、将来にわたり活力を維持していくことを目指し、平成28年2月に北茨城市人口ビジョン創生総合戦略を策定し、企業誘致による安定した雇用の創出、「期待場」を整備するなど、芸術によるまちづくりを通じた交流人口や関係人口の拡大、子育て世帯応援商品券の支給や保育料の第2子以降無料化などによる子育て支援の充実、健康ポイント制度の創設による健康づくりの推進など、地方創生に資する施策展開により人口減少対策を進めてきました。

今後についても、令和2年3月に策定された第2期北茨城市創生総合戦略により、引き続き人口、経済、地域社会における課題の解消に取り組むことで少しでも人口減少に歯止めをかけたかと考えています。

(他に、新型コロナウイルス感染症対策について質問)

## 第1回定例会提出議案の審議結果

令和4年第1回定例会は、3月1日から16日までの16日間の会期で開催されました。  
提出された議案は、令和4年度北茨城市一般会計予算など32件。結果は次のとおりです。

議案番号	件名	議決の結果
議会決議第1号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する決議案	可決
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認
	専決第4号 令和3年度北茨城市一般会計補正予算（第7号）	
	専決第1号 令和3年度北茨城市一般会計補正予算（第8号）	
議案第2号	北茨城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第3号	北茨城市部及び室設置条例の一部を改正する条例	可決
議案第4号	一般財団法人北茨城市開発公社の事業の総合調整及び助成等に関する条例を廃止する条例	可決
議案第5号	北茨城市個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
議案第6号	北茨城市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第7号	北茨城市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第8号	北茨城市固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例	可決
議案第9号	北茨城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第10号	令和3年度北茨城市一般会計補正予算（第9号）	可決
議案第11号	令和3年度北茨城市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第12号	令和3年度北茨城市水沼診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第13号	令和3年度北茨城市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第14号	令和3年度北茨城市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第15号	令和3年度北茨城市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第16号	令和3年度北茨城市民病院事業会計補正予算（第3号）	可決
議案第17号	令和3年度北茨城市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第18号	令和4年度北茨城市一般会計予算	可決
議案第19号	令和4年度北茨城市国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第20号	令和4年度北茨城市水沼診療所特別会計予算	可決
議案第21号	令和4年度北茨城市介護保険事業特別会計予算	可決

議案番号	件名	議決の結果
議案第 22 号	令和 4 年度北茨城市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第 23 号	令和 4 年度北茨城市水道事業会計予算	可 決
議案第 24 号	令和 4 年度北茨城市工業用水道事業会計予算	可 決
議案第 25 号	令和 4 年度北茨城市民病院事業会計予算	可 決
議案第 26 号	令和 4 年度北茨城市下水道事業会計予算	可 決
議会議案第 1 号	北茨城市議会委員会条例の一部を改正する条例	可 決
議会議案第 2 号	北茨城市議会会議規則の一部を改正する規則	可 決
議会議案第 4 号	ロシアによるウクライナへの侵攻に断固抗議する意見書	可 決
議案第 27 号	北茨城市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び北茨城市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第 28 号	北茨城市職員の給与に関する条例及び北茨城市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可 決

## 第 1 回定例会 賛否のわかれた議案などの採決結果について

賛否のわかれた議案などの採決結果について、各議員の賛否の状況を掲載します。

議員名(議席順) 議案などの番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	審議結果
	沓澤和彦	滝文裕	鈴木卓實	和田喜武	柴田キクエ	熊田 栄	上神谷英典	松本正春	今井路江	滝 広嗣	豊田弘俊	蛭田千香子	鈴木啓一	鈴木和栄	鈴木康子	前田利勝(議長)	豊田海洋	鈴木信男	大平博之	
議案第 9 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	○	可 決
議案第 10 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	○	可 決
議案第 18 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	○	可 決
議案第 19 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	○	可 決
議会議案第 4 号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可 決
議案第 28 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○	●	○	可 決

○賛成 ●反対 ※議長は可否同数の場合を除き、採決に加わりません。

## 令和4年度一般会計当初予算新規事業の主なもの

### 茜平総合交流施設改修事業

1億3161万5千円

利用客へのサービスの向上や施設の安全安心な管理運営を図るため、施設の大規模リニューアル工事を行う。(令和4年度は、宿泊A棟、B棟、空調設備等の改修工事を実施)

### 中郷中学校校舎長寿命化改修事業

1122万円

老朽化した中郷中学校校舎の屋上防水改修工事を行う。

### 子宮頸がんワクチン接種事業

4372万5千円

子宮頸がんの罹患を防ぐため、小学校6年生から高校1年生までの女子の希望する者に予防接種を行う。また、ワクチン副反応の問題により積極的接種勧奨を行わなかった期間に対象年齢であった者も対象とする。

### 消防団員報酬額の改定

619万3千円

消防団員数の減少や消防団の役割の多様化を踏まえ、消防団員の処遇改善を図るため、報酬額を改定する。併せて、水火災、警戒、訓練等に係る費用弁償額については出動報酬として改め、1日あたりの活動時間等を勘案した額を支給する。

### 揚枝方地区キャンプ場整備事業

4273万3千円

「芸術によるまちづくり」を展開している関本町富士ヶ丘揚枝方地区に、恵まれた自然景観と融和したキャンプ場の整備を行い、生涯学習センター分館「期待場」や芸術活動拠点「ARIGATEE」と連携し、地域の自然や芸術を生かすことでより一層の交流人口の拡大を図る。

### 野口雨情歌碑等設置事業

544万5千円

市内のウォーキングロードに野口雨情の詩を綴った歌碑等を設置し、ウォーキングを楽しむあらゆる世代に対し、雨情作品の魅力発信と認知度向上を図る。

### 消防水利整備事業

1697万円

消防水利の充実及び消防活動の強化を図るため、不足する地域に防火水槽を整備する。

### 遠隔学習用ルーター整備事業

396万円

タブレット端末を活用した家庭学習を行うにあたり、必要なネット環境が整備されていない世帯にモバイルルーターを貸与するとともに、契約時の事務手数料を補助する。(対象:要保護・準用保護世帯)

### 磯原駅自由通路東口天井改修事業

1149万5千円

老朽化したJR磯原駅自由通路東口天井の安全対策の強化を図るため、維持管理工事を行う。

### 母子健康診査事業(視力検査機器購入)

138万9千円

弱視等のスクリーニング精度が高い視力検査機器を購入し、3歳児健診において、眼疾患の早期発見及び早期治療につなげる。

## 請願・陳情の審査結果

### 継続審査となったもの

請願3 令和3年2月25日公布された「北茨城市議会議員政治倫理条例」（以後「新条例」とする）の第3条1項1号に抵触する、代表が元市職員のKさん・理事に大平議員やT元市議他2名・監査に蛭田議員とS前市議が令和2年度（令和4年度整備分）特別養護老人ホーム整備運営事業者への補助金を受けようとした行為は、設置場所の登記簿を見れば見る程、市民としては大きな疑義を感じ、関係者の良識ある対応を求め、第4条1項に抵触する鈴木啓一前議長が市民に対し行った調査請求書の却下や、豊田弘俊前副議長や蛭田前議運副委員長が市民を脅す等、調査対象8人の議員の理不尽な言動に対する公平・公正な対応を求め、第4条2項に抵触する広報誌「北茨城市議会だより」No.97・99・100号の虚偽記載や市民の名誉を傷つける記事に対し、謝罪と訂正を求める請願

北茨城市磯原町木皿991 代表 柴田克彦 外9名

請願5 鈴木啓一前議長他の署名簿に対する理不尽な越権行為他・豊田弘俊前副議長が講師と称する「消えゆく自治体」の著者はおらず疑惑を指摘するも、その疑義には答えず、警察へ電話を掛けて市民を脅した行為他・蛭田千香子前議運副委員長は市民の指摘に自己保身を図り、回答書を使い嘘の指摘で、市民に対し名誉毀損と圧力を加えた行為他・大平博之議員はM氏を使い、市会議員数人に対し、住民監査請求を行った行為他、問題のハラスメントや人道・倫理に背いた行為について、特別委員会を設け、真相を解明し責任の所在を明らかにする対応や市民の権利回復を求める請願

北茨城市磯原町木皿991 代表 柴田克彦 外9名

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する決議

3月7日、鈴木和栄議員の動議により、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する決議」が提出され、全議員の賛成により可決されました。

## ウクライナ大使館への寄付について

北茨城市議会議員19名は、避難を余儀なくされたウクライナの人々に対し、人道支援を目的として20万円を寄付しました。

## 全員協議会 3月1日、3月16日開催

3月1日は、事務局から今議会の進行方法などの連絡、執行部からは、旧磯原中学校跡地の利活用などについて報告がありました。

3月16日は、事務局から、「北茨城市議会委員会条例の一部を改正する条例」など、議会議案第1号から第4号までの追加議案の説明、執行部からは、「北茨城市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例及び北茨城市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」など、追加議案2件の説明がありました。また、「北茨城市議会議員政治倫理条例の改正」についても協議が行われました。

## 質疑・討論

3月7日、鈴木康子議員と鈴木信男議員は、議会決議第1号について、それぞれ質疑をおこないました。

3月7日、柴田キクエ議員と鈴木康子議員は、議会決議第1号について、それぞれ賛成討論しました。

3月16日、鈴木康子議員は、議案第9号、第18号、第19号及び追加議案第28号について反対討論しました。

## 特別委員会（政治倫理条例改正特別委員会、政治倫理特別委員会）

3月1日と8日に政治倫理条例改正特別委員会が開催されました。これまで、6回の事前協議と4回（8日を含む）の委員会を開催し、条例の改正について協議をしました。

3月16日に、請願3、請願5を審査するため、全議員19名を委員とする政治倫理特別委員会が開催されました。今委員会では協議の末、両請願ともに継続審査とすることが決定しました。

## 意見書の提出

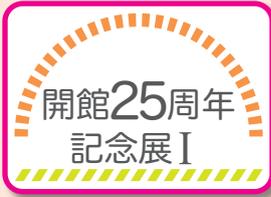
3月16日に、世界平和の実現に向け、去る2月24日に開始されたロシアによるウクライナへの軍事侵攻の中止を求めるよう要請するため、次の意見書が提出され、本会議で可決されました。なお、意見書は関係機関に送付されました。

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に断固抗議する意見書」

### 表紙の解説

大北川と花園川沿いに植えられた桜も見事に咲き誇り、歩く人たちを楽しませてくれる季節です。川沿いにはウォーキングロードがおよそ2.6km整備され、令和3年度の予算で、さらに町中へ延長する工事が進んでいます。

周辺の環境整備には、枝の剪定や、河川の草刈りをするなどボランティアの方々が頑張っています。



「箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展

花愛でるところ、恋の詩<sup>うた</sup>とともに」から

令和4年4/27(木)～6/26日

休館：月曜日【ただし5月2日(日)は開館】

薔薇は古くから日本にも自生し、『常陸国風土記』には「茨＝うばら」として記され、茨城の地名はここに由来します。一方で園芸花としては西洋で長く親しまれてきた歴史があり、日本では西洋からの輸入を経て栽培が一般化し、広く親しまれるようになりました。日本美術においては、薔薇は比較的新しいモチーフであるといえます。

《ブルボン・ローズ》の作者、湯口絵美子は多くの花を描くなかでも、とりわけ薔薇を得意としています。インド洋の仏領ブルボン島(現レユニオン島)で発見されたというブルボン・ローズを描いた本作品は、この品種の特徴を捉えながら、金地を背景とし、大きく弧を描く枝のリズムが装飾性を感じさせる画面となっています。典雅な薔薇のたたずまいに、枝の動勢が野趣を添えるような作品といえるでしょう。



湯口絵美子《ブルボン・ローズ》平成27年(2015)  
箱根・芦ノ湖 成川美術館蔵

本展覧会では、成川美術館が誇る4000点余りの現代日本画コレクションから「花」をテーマに作品を選びすぐって紹介します。花咲き乱れる展示室で、様々な花の表情に心躍らせ、また癒やされるひとときをお過ごしください。

(首席学芸員 井野 功一)

令和4年第2回定例会日程(予定)

令和4年第2回定例会は、6月2日から6月17日までの16日間の予定です。

- 6月2日(木) 本会議 (議案説明など)
- 6月8日(水) 本会議 (一般質問)
- 6月9日(木) 本会議 (一般質問)
- 6月10日(金) 産業建設委員会 (議案審査)
- 6月13日(月) 文教厚生委員会 (議案審査)
- 6月14日(火) 総務委員会 (議案審査)
- 6月17日(金) 本会議 (採決など)

● 議会だより編集委員会委員 ●

委員長	滝 広 嗣
編集長	上神谷 英 典
副編集長	和田 喜 武
委員	鈴木 康 子
委員	鈴木 卓 實
委員	滝 文 裕
委員	沓 澤 和 彦

編集後記

2月24日、世界を震撼させる事態が発生しました。ロシアが隣国ウクライナに軍事侵攻したのです。二ヶ月が過ぎた今も和平交渉は進展せず、戦争状態は続いています。

今市議会では「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する意見書」を採択し、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、ロシア大使館等に提出しました。この声が届き、一日も早く終息することを願っています。

さて、議会だよりの編集に携わ

り一年が過ぎました。本会議の一般質問や常任委員会での丁寧なやり取りが、市民の皆様にお伝えできていますでしょうか。

紙面を作成するに当たっては、会議の録音を確認し、内容を精査するため幾度も編集委員会を開催し、皆様にお届けしています。何時間にも及ぶ会議の内容を限られたスペースにまとめなければならず、少なからず苦労しています。そして一日も早くコロナ禍が収束し、市民の皆様が一般質問や常任委員会を、以前と同様、傍聴していただけだと切に思います。

(滝文裕 記)